

- Experience tour of international medical relief 2018 -

“国際活動体験ツアー”に参加して

4月28日～29日に大阪赤十字病院国際救援部主催の“国際活動体験ツアー”に参加してきました。全国から赤十字の看護学生24名が集まり、架空の内戦国ダグーナに派遣された設定でさまざまなセッションをグループで行っていきました。 68回生 2名



1日目は、日本からダグーナへの派遣が決まり、実際に活動するまでの過程を考えました。

①日本出発までの準備 ②日赤本社でのブリーフィング ③相手国でのブリーフィング ④活動サイトの決定・クリニックレイアウトについてグループでディスカッションして、実際の活動のための準備を進めていきました。スタッフからは、現地で使う医薬品（IEAK）の実物を見ながら説明していただいたり、現在セブ島に派遣され保健活動をしている要員と直接スカイプで話したり、無線の使い方を教えていただきました。現地の状態の過去から未来までを予想し、内容をふくらませました。



2日目も、

- ①無線と専門用語を使用して最寄駅から集合場所までの実況報告
 - ②テントの設営・クリニック内部の機材の配置
 - ③無線・GPS・衛星携帯電話を使用して
チーム対抗の昼食探しミッション
 - ④昼食づくり
 - ⑤仮設クリニックでのロールプレイ
 - ⑥撤収か継続かのシミュレーション
 - ⑦各チーム無事に「日本に帰国」
 - ⑧質疑応答
- と、盛り沢山の内容でした。



“体験ツアー”という名目ではありましたが、まるで本当に国際活動に参加したかのような、大変充実した2日間となりました。実際に現地で活動してこられた方々や、目標に向かって努力している学生たちとセッションする事で、私たちのモチベーションも上がり、想像していた以上に多くのものを得ることが出来ました。今回一緒に学んだ方々と、いつか海外のどこかで一緒に活動が出来たらと思います。この様な機会があれば、国際活動に興味のある方にはぜひ参加することをお勧めしたいと思います。貴重な体験を本当にありがとうございました。

